

瀬戸新屋の家



道路から建物外観を見る。土留めの様な基壇を設けず緩やかな傾斜とすることで、街とのつながりをつくる。

■ 設計コンセプト

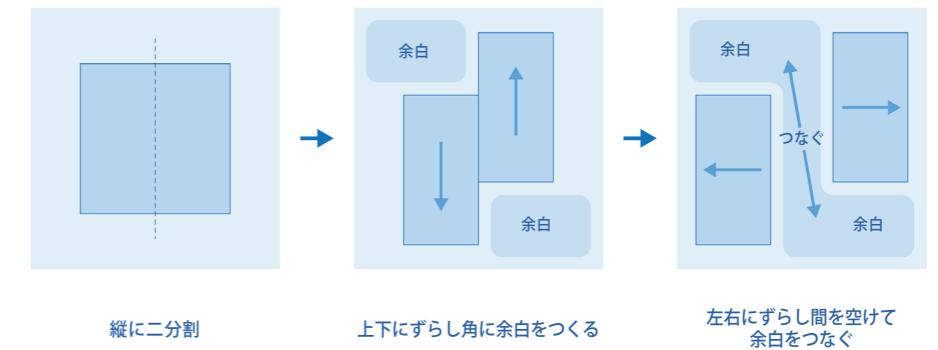
街との接続

本計画は、静岡県藤枝市内の閑静な住宅地に計画した夫婦二人の住まいである。建築主の希望は、緑豊かな庭と開放的な繋がりを持つ住宅であった。

敷地は、南側道路面よりも約 1.3m 程度小高い地盤面となっており横並びの隣接地も同様の状況となっていた。近隣住宅は、土留め壁を設け道路レベルへ駐車スペースを確保し、一段上がった地盤面へ住居を建てて幾分の庭を設けるといった形になっており、基壇の性質上街とは切り離されていてある意味閉鎖的な印象を受けた。

近隣と同様に駐車スペースと基壇擁壁、アプローチ及び建物をそれぞれ単体としてレイアウトしてしまうと、建築主の希望を意味する開放的な繋がりを実現することが難しいと感じた。そこで、アプローチや駐車スペースは全て庭の一部と捉え、土留め壁の様な基壇構造はあえて設けず地盤を開放したかのような緩やかな傾斜とすることで、街との接続を試みた。2つの余白を「前庭」と「裏庭」とし、前後の余白を繋ぐ中間領域的な「通り土間」設けることとした。前庭によって街へ接続し、裏庭によって私生活の接続をし、通り土間によって2つの外部空間を緩やかにひと続きとすることで、建築主の望む開放的な住まいの実現を目指した。

■ ダイアグラム



■ 建築概要

所在地 : 静岡県藤枝市瀬戸新屋
計画区域 : 市街化区域
用途地域 : 第1種低層住居専用地域
防火地域 : 指定なし
その他 : 法22条指定区域
主要用途 : 一戸建て住宅
構造 : 木造在来軸組工法
階数 : 地上2階
工期 : 2019年9月～2020年4月
最高高さ : 7.05 m
敷地面積 : 193.88 m²
建築面積 : 85.08 m²
延床面積 : 108.83 m²
建蔽率 : 43.88 %
容積率 : 56.13 %

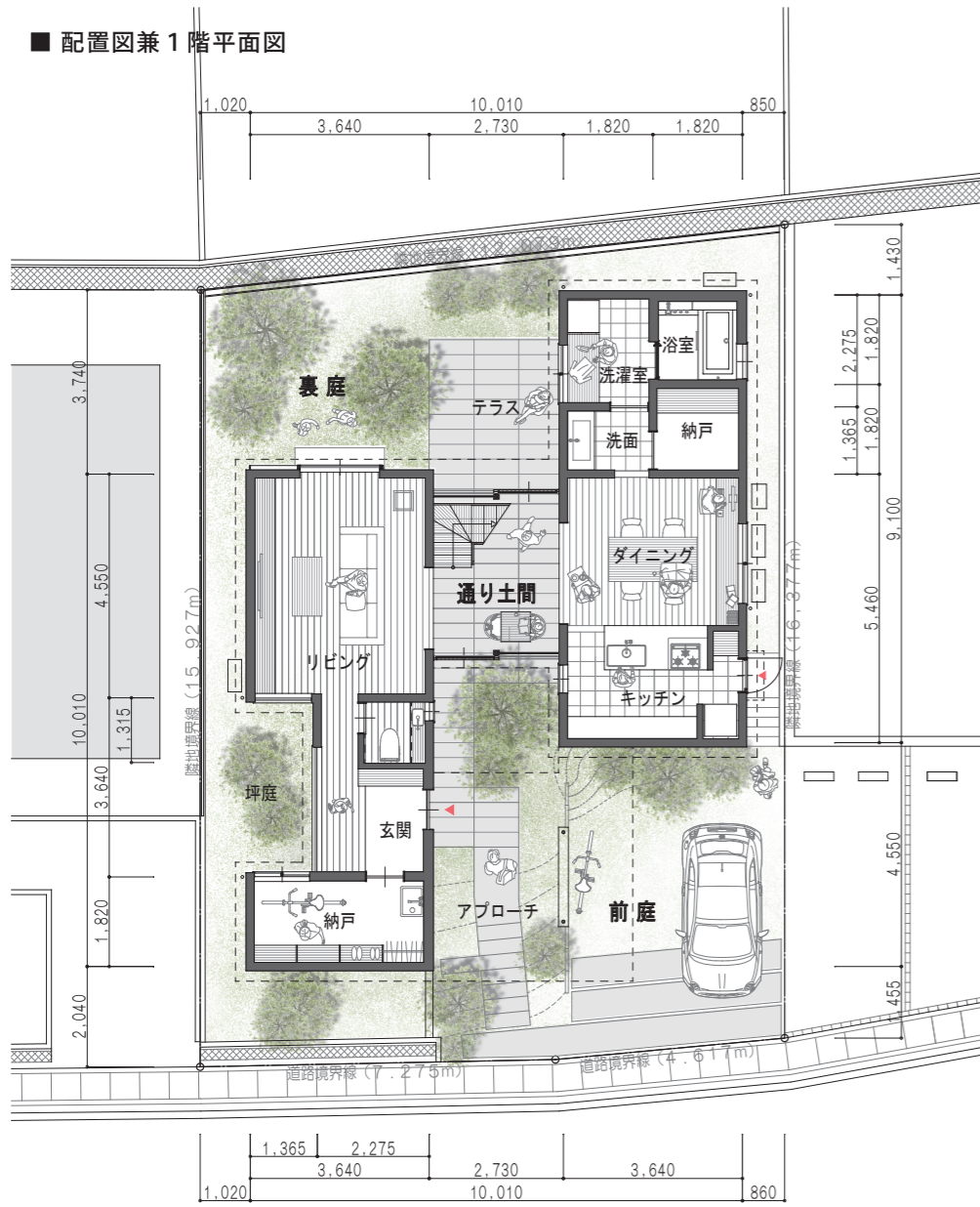
■ 主な外部仕上げ

屋根 : 厚 0.4 カラーガルバリウム鋼板 縦平葺き
外壁 : 厚 15 杉板本実目透し張り 外部着色保護塗装

■ 主な内部仕上げ

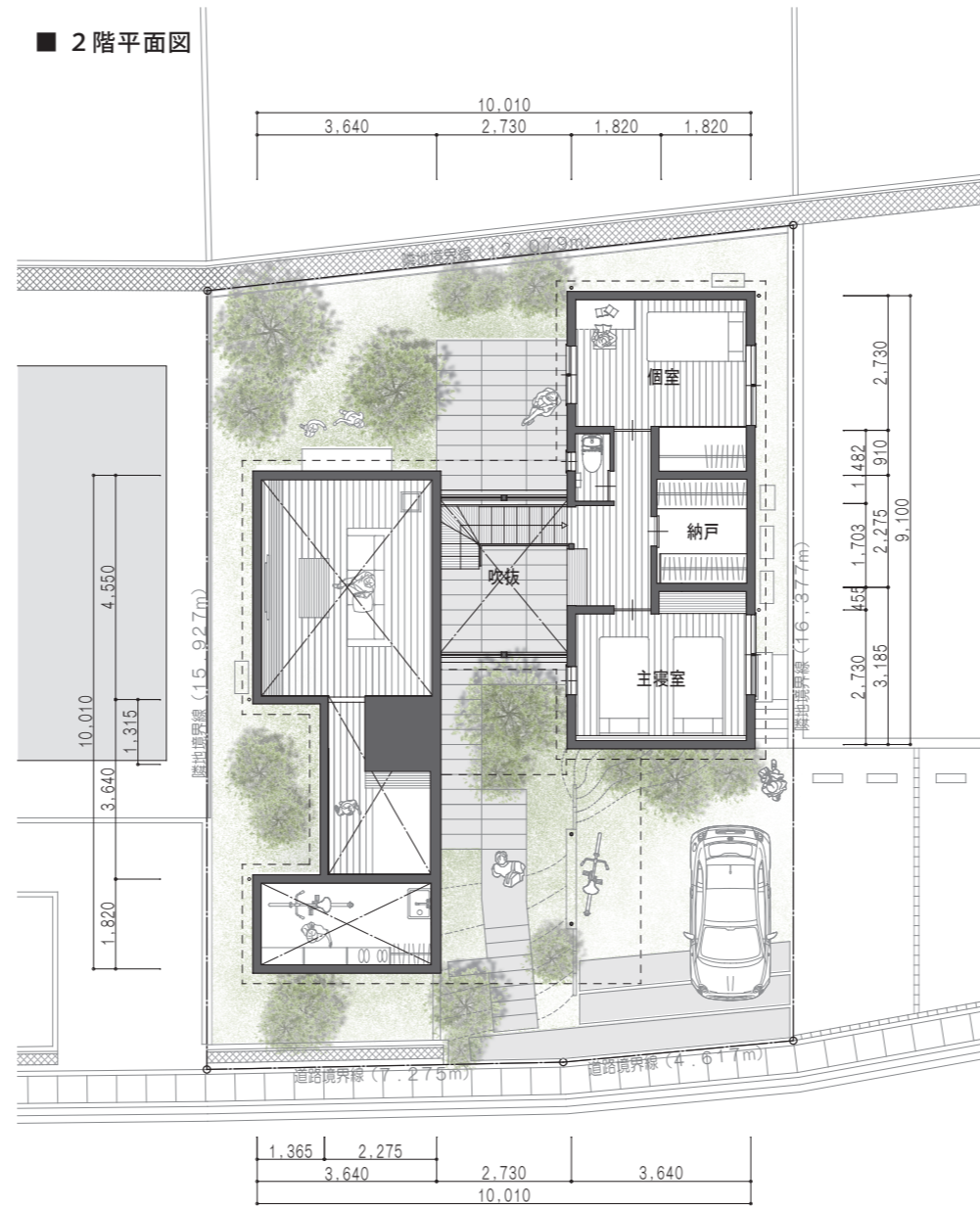
[リビング・ダイニング・キッチン]
床 : 厚 12 天然木複合フローリング 塗装品
: 厚 9.0 300 角タイル張り
壁 : ビニルクロス貼り
天井 : 厚 5.5 ラワン合板突付張り 自然着色塗装
[通り土間]
床 : 厚 30 深岩石張り ストーンコート塗装
壁 : 厚 15 杉板本実目透し張り 自然着色塗装
天井 : 厚 9 構造用合板 自然着色塗装
[主寝室・個室]
床 : 厚 12 天然木複合フローリング 塗装品
壁 : ビニルクロス貼り
天井 : ビニルクロス貼り

■ 配置図兼1階平面図



1/150

■ 2階平面図



1/150

■ 屋根伏図



1/150



通り土間から奥庭を見る。深岩石の床仕上げを内外で連続させることで広がりのある場をつくる。



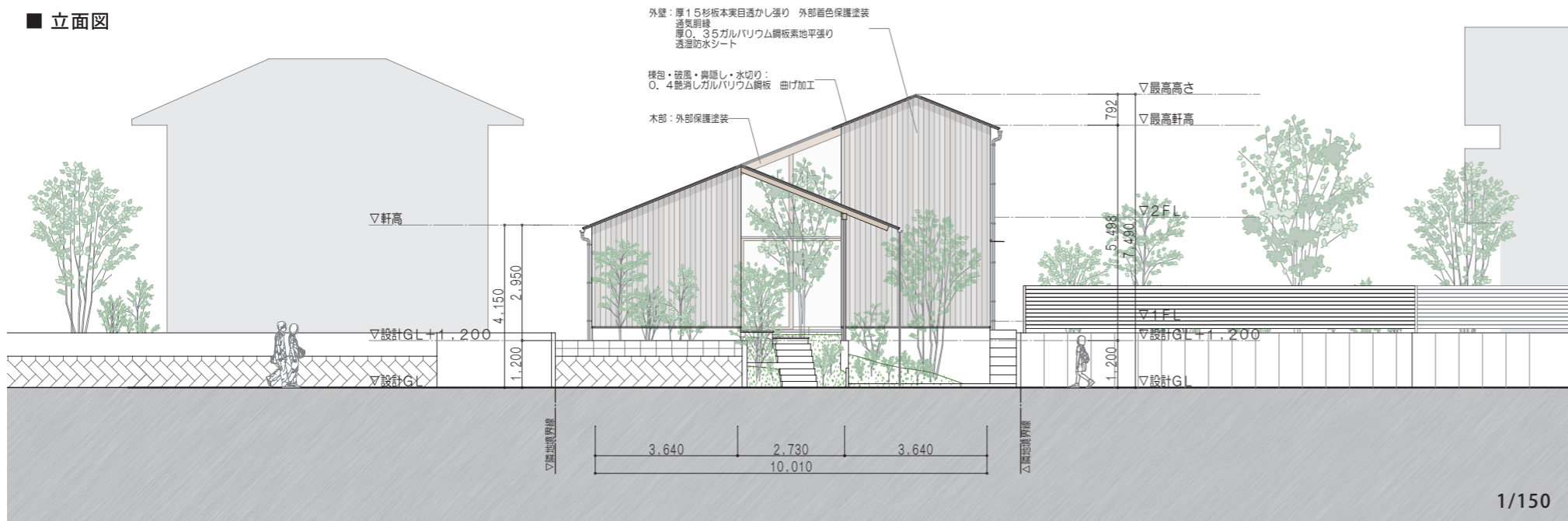
ダイニングからリビングを見る。壁の仕上げを内外で連続させることで通り土間を中間的な場としてつくる。



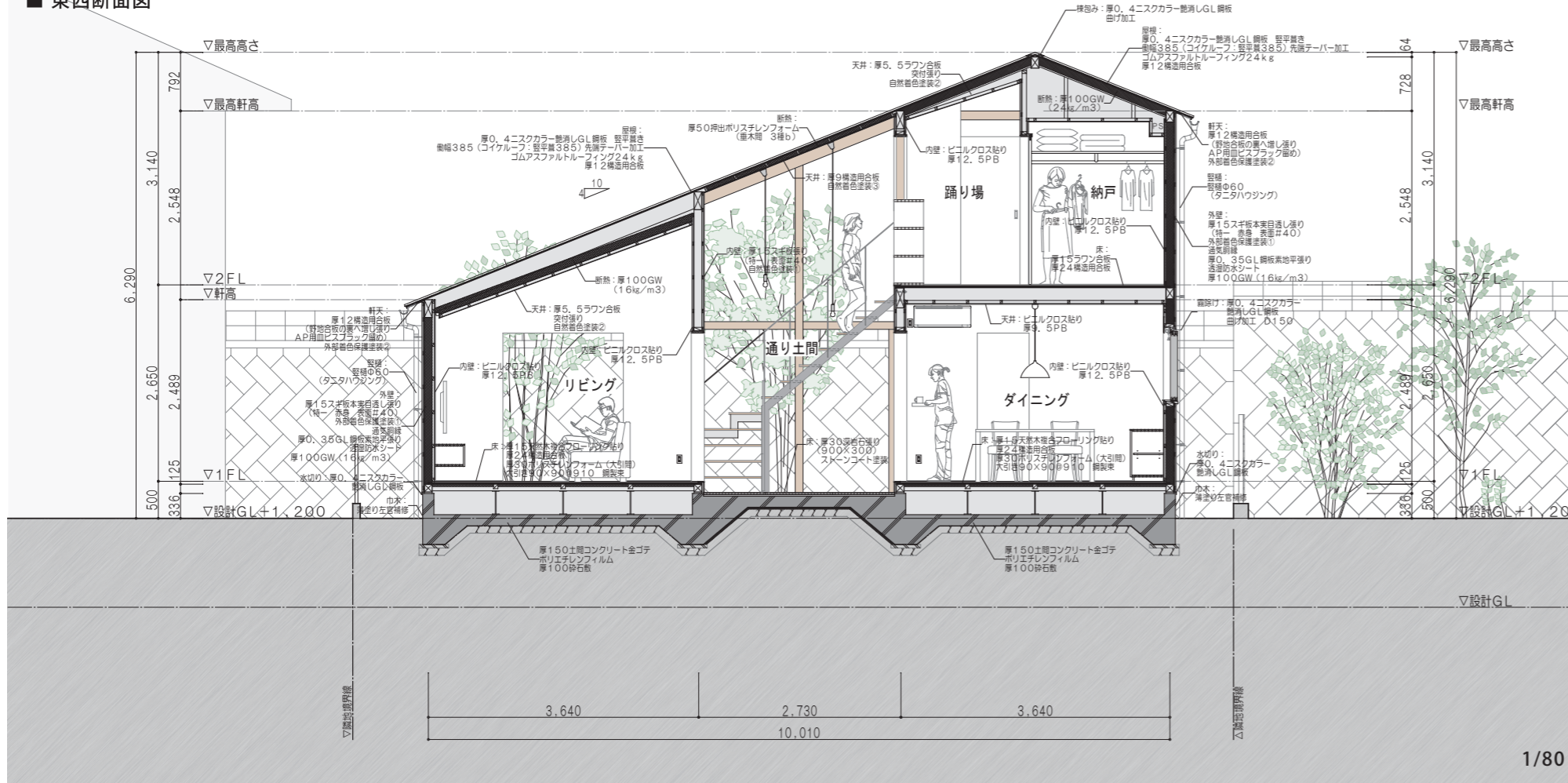
2階から吹抜けを見る。通り土間からアプローチを介して道路へと視線が抜ける。



■ 立面図

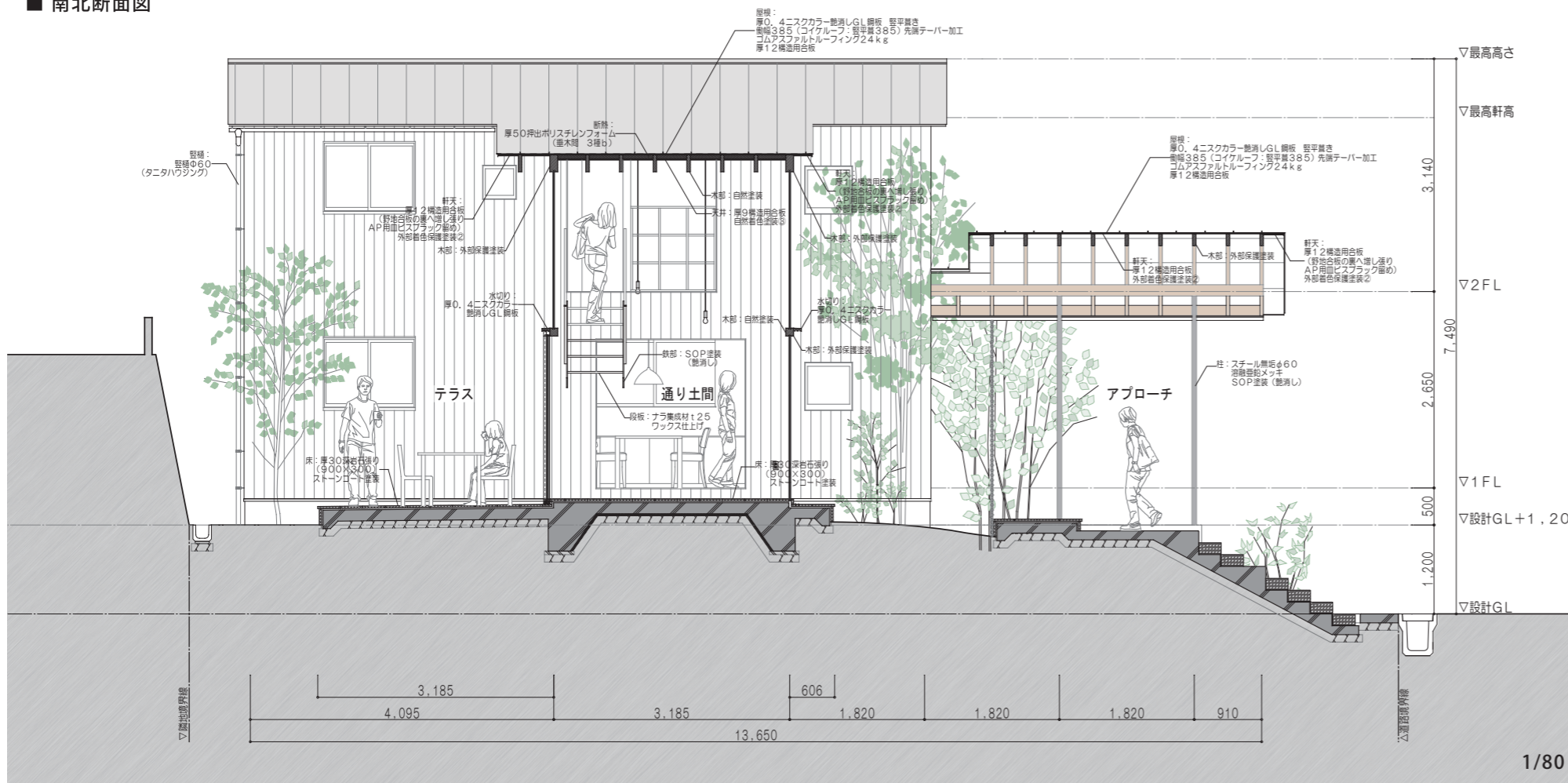


■ 東西断面図



リビングから通り土間を見る。通り土間を介して2つの異なる特徴を持つ庭をつなぐ。

■ 南北断面図



裏庭からテラスを見る。裏庭は内に向けた住空間と一体的な庭として設えた。